

31-1121

薬薬学連携の実践に向けて金沢大学薬学部「くすりと健康プラザ」と NPO 運営ホームページ「くすりメイト. com」の協調

○鈴木 永雄¹, 伯水 英夫¹, 大柳 賀津夫², 山田 順子², 塩村 和子², 稲野 彰洋², 古本 義明³, 辻 彰¹ (¹金沢大院薬,²NPO 健康環境教育の会,³石川県薬剤師会)

【目的】平成 15 年 10 月、金沢大学薬学部は市民・薬剤師への情報提供、薬剤師の情報交換の場、ならびに薬薬学連携に参画するため「くすりと健康プラザ」を設置した。その活動は NPO 法人が運営する「くすりメイト. com」に強く依存している。両者の協調体制を紹介する。

【方法】「くすりと健康プラザ」は、NPO 法人、健康・環境・教育の会 (HEART) アカンサス薬局と協力して、市民からの薬や健康に関する質問に回答している。しかし、多様で予測困難な質問・疑問に的確に回答し、同時に「くすりと健康プラザ」を薬薬学連携における情報交換の場として活用するには多方面の薬局や病院薬剤部の薬剤師、行政担当者の参入が必須であった。こうした問題点をクリアするため、NPO HEART の支援を得てホームページ「くすりメイト. com」を立ち上げ、薬局・病院薬剤師にホームページへの会員登録を呼びかけ、回答者となってもらったこととした。会員としては、守秘義務が求められる薬剤師 (薬剤師会員、薬局薬剤師、病院薬剤師、薬剤師免許証を有する大学教員) に限定した。ホームページの周知については活動内容の性質上、検索ホームページ等での公開は控え、石川県病院薬剤師会報への記事投稿や石川県内の薬剤師集合研修会などでの紹介に留めている。

【結果および考察】会員数は平成 16 年 11 月現在、約 100 名。比率は薬局薬剤師、病院薬剤師、薬学部教員、薬剤師会関係者が約 4 : 3 : 2 : 1 で、薬学部と NPO 法人との協調体制が好意的に受け入れられていると思われる。今後の課題は、会員増加のための方策、安心して情報提供できる体制の構築、迅速な回答作成への体制の構築がある。